



# 自由都市・堺 平和貢献賞

## 第4回受賞者を決定

市では、自由都市・堺 平和貢献賞の第4回受賞者を国際交流の会とよかと、テラ・ルネッサンスに決定しました。

10月23日(木)、授賞式を開催します。また、受賞者の活動を紹介合せパネル展示も行います。

問合せ 人権企画調整課 ☎228・7159 FAX228・8070

自由都市・堺 平和貢献賞は、アジア・太平洋地域で平和貢献活動を行っている個人や団体を表彰することで、国内外に国際平和の大切さを発信し、平和と人権の尊重への理解、国際協力・貢献活動の促進を図ること

とを目的に創設したものです。

2年に1回、国内外の有識者や学術機関が推薦した候補者を同賞選考委員会にて選考し、同委員会の報告を受けて市が決定します。第4回の受賞者の活動内容や授賞理由などは次のとおり。

### 外国人住民へ生活に密着した支援を展開 国際交流の会とよかと



外国の方との共に住みやすい社会づくりをめざして、豊中市在住の女性たちが中心となって設立。留学・就労のため来日した方とその家族への個別支援などから活動を開始しました。日本語学習の援助や、生活に密着

したサポートを行っています。更に活動を拡大し、地球規模の課題を世界の人たちと協力して解決するため、ネパール・シンスリ地方で女性と子どもの自立を支援するなど、国内外で国際交流・協力活動を展開しています。

授賞理由  
社会の多文化・多民族化が飛躍的に進む一方、多くの外国の方が、言語や文化の違いからさまざまな課題を抱えています。同団体は、誰もが安心して暮らせることができる平和な社会は、市民一人ひとりの交流から育まれるとの考えから、外国の方と個別に交流しながら、

### 地雷撤去活動や元子ども兵の自立を支援 テラ・ルネッサンス

カンボジアでは、内戦で埋設された大量の地雷が今なお残り、住民の安全な生活を脅かす深刻な問題となっています。この状況を伝えるため、日本で啓発を行うことから活動を開始。全ての生命が安心して生活できる社会の実現に寄与することを目的に同団体を設置し、地雷撤去活動支援、地雷の被害者や元子ども兵の職業訓練などの支援を行っています。

授賞理由  
カンボジアでは、内戦で埋設された大量の地雷が今なお残り、住民の安全な生活を脅かす深刻な問題となっています。この状況を伝えるため、日本で啓発を行うことから活動を開始。全ての生命が安心して生活できる社会の実現に寄与することを目的に同団体を設置し、地雷撤去活動支援、地雷の被害者や元子ども兵の職業訓練などの支援を行っています。

生活に密着したきめ細かな支援を続けてきました。同団体の活動は、多文化・多民族共生社会の実現に大きく寄与すると高く評価するものです。

授賞者のコメント  
設立以来、地域に住む外国の方との共生をめざし、地域の方



テラ・ルネッサンス

と共に活動を続けてまいりました。カースト制度や男尊女卑の風習が強く残る、ネパール農村部の女性の自立支援活動は、徐々に成果が表れてきているところ。

今回の受賞は、大変な励みになります。これを機に活動がますます活発化し、外国の方にとつても住みやすい地域社会を広げていきたいです。また、海外の状況と同じ地球上の人間として理解し、助け合える活動を進めていきたいと思っています。

共に行動して、くれる方や支援者の皆さん、何より支援地において、自らのちからで立ち上げようとする多の方々のおかげで、今回受賞できたものと思います。

これを機に、一人でも多くの方に地雷や子ども兵の課題、可能性の追求が保障された社会の実現に、大きく寄与するとして高く評価するものです。

授賞者のコメント  
カンボジアからはじまりウガンダ、ラオス、ブルンジ、コンゴ民主共和国と活動地を広げ、

授賞式と受賞者による対談 10月23日(木)、午後2時からラオス・クアアム(小)、午後2時からサンクエア(大)堺市駅前にて。無料。手話通訳・要約筆記・磁気テープあり。

申込み 電話かFAX、郵送、電子メールで住所、氏名、電話番号、参加人数を書いて、10月21日(必着)に人権企画調整課(〒590-0007 78 堺区南瓦町3-1-1)へ。先着200人。期間を過ぎても定員に達しなれば、引き続き申し込みを受け

自由都市堺 平和貢献賞選考委員会 50名(候補者) 敬称略

関西国際交流団体協議会 理事・有田典代

大阪大学名誉教授・川島慶雄(委員長)

大阪女学院大学大学院教授・大坂大学名誉教授・黒澤満

同志社大学大学院教授・峯岡一

鳥・古市古墳群 立命館大学 特任教授・和田晴吾さん

▽講演「陵墓の管理と治定の要諦」宮内庁書陵部陵墓課 事務局 世界遺産登録推進本部会議室 559号 room 大阪市住之江区南港北1丁目14-16 大阪府咲洲庁舎37階 ☎06・621009742 FAX06・62109316

▽パネルディスカッション (公開討論会) 改めて考える百舌鳥・古市古墳群の価値と世界遺産 二コティネーターは京都府立大学教授・宗田好史さん、パネリストは岡田さん、田さん、オランダ・ライデン大学教授・ウイレム・ウイレムスさん、中国・瀋陽大学教授・呂舟さん、筑波大学大学院教授・稲葉信子さん、大阪大学大学院

### 「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値」テーマに

11月24日

### 国際シンポジウム

市と府、羽曳野市、藤井寺市で構成する百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議では、「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産としての価値」をテーマに国際シンポジウムを開催します。

11月24日(休日)、午後0時30分〜4時50分、四天王寺大学(羽曳野市園前)。

主内容(要約)は次のとおり。

▽基調講演「世界遺産の観点からみた百舌鳥・古市古墳群」国士舘大学イラク・古代文化研究所所長・岡田保良さん

▽講演「考古学からみた百舌鳥・古市古墳群の価値と世界遺産」立命館大学 特任教授・和田晴吾さん

▽講演「陵墓の管理と治定の要諦」宮内庁書陵部陵墓課 事務局 世界遺産登録推進本部会議室 559号 room 大阪市住之江区南港北1丁目14-16 大阪府咲洲庁舎37階 ☎06・621009742 FAX06・62109316

▽パネルディスカッション (公開討論会) 改めて考える百舌鳥・古市古墳群の価値と世界遺産 二コティネーターは京都府立大学教授・宗田好史さん、パネリストは岡田さん、田さん、オランダ・ライデン大学教授・ウイレム・ウイレムスさん、中国・瀋陽大学教授・呂舟さん、筑波大学大学院教授・稲葉信子さん、大阪大学大学院

3月末に閉館した市民会館は、南大阪における文化芸術の創造・交流・発信の拠点施設として建て替え整備を進めています。

### 堺市民会館建替事業 新施設の基本設計報告会

新施設の配置や規模、機能などをまとめた基本設計についての報告会を開催します。

市による基本設計を行った、柳澤孝彦TAKA建築研究所・MORIデザイン建築事務所設計 共同代表・柳澤孝彦さんによる講演があります。

10月11日(土)、午後1時30分〜3時30分、総合福祉会館(堺区南瓦町2-1-1)6階ホールで。無料。直接会場へ。手話通

阪堺線の低床式車両堺トラム

左から「茶ちゃ」「紫おん」「青らん」

この基金を活用した堺トラム「茶ちゃ」「紫おん」は、天王寺駅前〜浜寺駅前を毎日運行しており、来年春には3編成目の「青らん」が運行を開始します。

3万円以上の寄付をいただいた方には記念として、堺トラムの車内に氏名を掲出する特典があります。この特典は「青らん」で終了となります。

なお、同基金への寄付は、ふるさと納税制度なども適用されます。皆さんの協力をお願いします。

詳しくは市ホームページ(アドレスは1ページ参照)をご覧ください。交通政策課 ☎228・7756 FAX228・8468

お問い合わせください。



左から「茶ちゃ」「紫おん」「青らん」